



財務会計

【第1回】ガイダンス、オリエンテーション

経済学部 山根陽一

- “財務会計”を担当する「山根 陽一」です。
- 出身は「山口県」、3年半前に大阪(経法大)に来るまで、12年間で東京で過ごしていました。
- 専門は“財務会計”です。
- 詳細はWebを参照ください。www.yamanelab.jp
- どうぞ、よろしくお願いしますm(_ _)m

自己紹介

2

- シラバス

http://www.keiho-u.ac.jp/faculty/syllabus/33452_01.html

- 概要: 会計処理の理論的背景
- レベル: 最低でも日商簿記検定2級程度の知識
- 位置付け: 上級簿記を履修済が前提
- 目標: 会計処理の理論的側面について理解すること
- 成績: シラバスには期末試験と書いてありますが、レポートに変更するかもしれません

授業概要(シラバス)

3

- 匿名のアンケートにご協力ください。

アンケート

4

1. 簿記を学習したことがない

⇒ まず、初級簿記(月1,木1)を履修してください

2. 初級簿記を履修したが不可であった

⇒ 初級簿記(月1,木1)を履修しましょう

3. 日商簿記検定3級に合格していない

⇒ 11月17日の日商簿記検定に申込みましょう

⇒ 直前対策講座3級を必ず受講しましょう

履修上の注意

5

4. 中級簿記、工業簿記の単位をとっていない
⇒ 中級簿記、工業簿記を履修しましょう
5. 日商簿記検定2級に合格していない
⇒ 11月17日の日商簿記検定に申込みましょう
6. 1.～5.に該当する
→ 理解できない部分が多くなると思います
⇒ 他の科目をお勧めします

履修上の注意

- 申込期間

9月27日(金)～10月11日(金)

- 受験料

【1級】5,500円 【2級】3,500円 【3級】1,500円

- 試験日時

【2級】13:30集合 13:50～15:50

【3級】 9:00集合 9:20～11:20

- 会場

2・3級:大阪経済法科大学八尾駅前キャンパス

日商簿記検定の案内

7

- 次の3つの質問について、隣の人と話し合いながら考えてみてください(5分)。

Q1:簿記とは何ですか？

Q2:会計とは何ですか？

Q3:会計学とは何ですか？

オリエンテーション

8

- 簿記

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%B0%BF%E8%A8%98>

(Wikipedia)

- ある経済主体が経済取引によりもたらされる資産・負債・純資産の増減を管理し、併せて一定期間内の収益及び費用を記録することである。

⇒ 帳簿記入(つまり記録)

Q1: 簿記とは何ですか？

9

- 簿記の起源は？

中世イタリア：13世紀初頭～14世紀末

<http://www.lib.hit-u.ac.jp/service/tenji/k15/origin.html>

(一橋大学)

- ルカ・パチオリ『スンマ』(1494年)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AB%E3%82%AB%E3%83%BB%E3%83%91%E3%83%81%E3%83%A7%E3%83%BC%E3%83%AA>

(Wikipedia)

Q1: 簿記とは何ですか？

10

- 複式簿記

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A4%87%E5%BC%8F%E7%B0%BF%E8%A8%98>

(Wikipedia)

- 簿記において、全ての簿記的取引を、その二面性に着眼して記録していき、貸借平均の原理に基づいて組織的に記録・計算・整理する記帳法のことをいう。

<http://yangyi.exblog.jp/7403621/>

(山根のcolumn)

Q1: 簿記とは何ですか？

11

- 日本では、いつ頃、誰が、始めたの？

- 福沢諭吉『帳合之法』(明治6年:1873年)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A6%8F%E6%BE%A4%E8%AB%AD%E5%90%89>

(Wikipedia)

<http://www.lib.hit-u.ac.jp/service/tenji/k15/choainohou.html>

(一橋大学)

Q1: 簿記とは何ですか？

12

- アラン・シャンド『銀行簿記精法』(明治6年:1873年)

[http://blog.goo.ne.jp/sztimes/e/
1adca3ad21fd3c479c5dedef21601b93](http://blog.goo.ne.jp/sztimes/e/1adca3ad21fd3c479c5dedef21601b93)

(おでかけたいむず)

<http://www.lib.hit-u.ac.jp/service/tenji/k15/shand.html>

(一橋大学)

- 日本会計史学会

Q1: 簿記とは何ですか？

13

- 日本簿記学会

<http://www.hakutou.co.jp/boki/>

(日本簿記学会)

- 今年の全国大会:8/30～9/1(立教大学)

<http://www.hakutou.co.jp/boki/event/pdf/29-zenkoku.pdf>

- 「明治期の製塩業組合における会計について－山口県『三田尻塩田大会所』の事例－」
- 私の地元の会計史について
 - 明治以前に複式簿記の構造をもったものがあつた

Q1: 簿記とは何ですか？

14

- ゲーテが賛美した？

<http://yamanelab.ldblog.jp/archives/6989304.html>

(山根のbook diary)

Q1: 簿記とは何ですか？

15

- 会計

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%9A%E8%A8%88>

(Wikipedia)

- 金銭や物品の出納を、貨幣を単位として、記録、計算、管理等すること
- 簿記は管理するための記帳技術

Q2: 会計とは何ですか？

16

- 会計の起源は？

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%9A%E8%A8%88%E5%8F%B2>

(Wikipedia)

- 紀元前4000年頃:エジプト、紀元前3500年:バビロニア
 - 徴税記録や徴税された物資の管理、契約の記録や財産目録

<http://yangyi.exblog.jp/7403640/>

(山根のcolumn)

Q2: 会計とは何ですか？

17

- 会計の語源
 - 会計 → Accounting → Accountingの語源は
 - Accountability
 - 説明、説明責任、責務
 - ⇒ 会計責任:会計報告をする説明責任
 - Account(動詞)
 - 説明する、(原因や理由を)明らかにする
- Accounting(名詞)
- 会計の語源(漢字編)

<http://yangyi.exblog.jp/7403503/>

(山根のcolumn)

Q2: 会計とは何ですか？

18

- 会計学

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%9A%E8%A8%88%E5%AD%A6>

(Wikipedia)

- 企業、官庁、家計など一定の経済主体が行う会計行為、すなわち、富の存在とその変動に伴う損益に関する計数的情報の測定と伝達の行為を対象とし、法則、性格、構造などを、首尾一貫した理論的体系をもって解明しようとする 学問

<http://yangyi.exblog.jp/7403800/>

(山根のcolumn)

Q3: 会計学とは何ですか？ 19

- 「会計学」という名前について...
- 大正時代:遡ること、ちょうど100年くらい前
 - 「計理学」:東京高商(鹿野清次郎)
 - 「会計学」:神戸高商(東爽五郎)、明治大(中村茂男)

→ 昭和2年:1927年「計理士法」

- 会計専門家の資格「計理士」
- 認定科目名「会計学」

- 参考:立命館会計教育研究会『スタートライン会計学』中央経済社、2012年3月、P3,4

Q3: 会計学とは何ですか？ 20

- 山田真哉『女子大生会計士の事件簿』英知出版
- 山田真哉『女子大生会計士の事件簿2』英知出版
- 山田真哉『女子大生会計士の事件簿3』英知出版
- 山田真哉『女子大生会計士の事件簿4』英知出版
- 山田真哉『女子大生会計士の事件簿5』英知出版
- 山田真哉『女子大生会計士の事件簿6』英知出版
 - 誰にでも楽しく読める会計本
- 桜井久勝『財務会計講義 第13版』中央経済社
 - 標準的なテキスト、資格試験勉強にはオススメ

本の紹介

21

- 友岡賛『会計学原理』税務経理協会
 - 少し変わった視点から書かれているテキスト
 - 会計や会計学に興味のある方にはオススメ
- 上野清貴『簿記のススメ』創成社
 - 教養としての簿記を説いている本
- 石川純治『複式簿記のサイエンス』税務経理協会
 - 複式簿記の構造論が展開されている本(難解)

本の紹介

22

- 千葉準一、中野常男『会計と会計学の歴史』中央経済社
 - 体系現代会計学全12巻のうち、会計史に焦点を当てた第8巻
- 片岡一郎『リトルトン 会計発達史』同文館
 - 会計史のジャンルで最も有名な本のひとつ
- 田中章義『日本における会計学研究の発展』同文館
 - 日本会計学の大家のインタビュー記事を収録

本の紹介

23